

東武トップツアーズ協賛旅館ホテル連盟では、東武トップツアーズの宿泊増売を図るため、全国の11支部に対しての支援、協賛を強化している。そこで、各支部長に①東武トップツアーズに期待すること②支部の2019年度事業の概要③支部長としての事業方針や抱負、意気込みについて聞いた。

# 東武トップツアーズ旅木連

## 11支部長に聞く

### 東武トップツアーズへの期待

### 2019年度事業の概要

### 支部長としての抱負

# 東武トップツアーズ&旅木連設立5年記念特集

## 北海道支部

支部長 金道太朗



北海道も昨年9月に地震と停電が発生したことは未だ記憶に新しい。国と北海道からふっとう割の支援、東武トップツアーズからは全社を挙げて物心両面の支援をいただき深く感謝している。

さて2020年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される。オリンピック旅行サービスパートナーの確固たる地位を占める東武トップツアーズとしては、ますます本領発揮と思う。

盛夏に開催されるオリンピック・パラリンピックに数百万人のインバウンドが見込まれる。

## 東北支部

支部長 瓜生泰弘



今から700余年前、マルコ・ポーロがアジア諸国を見聞して書いた旅行記「東方見聞録」の中で、日本のことを「黄金の国ジパング」と世界に紹介し、「一時期世界中から人々が殺到したことはあまりにも有名な話である。」

そしてそれは、当時(鎌倉時代)、佐渡を含め東北各地で豊富に産出された金(砂金を含む)や、それによって建立された平泉の「中尊寺金胎堂」がモデルになったと言われている。という事は、欧州でもアジアでも「黄金の国ジパング」とは東北地方を指した

### 東北は「黄金の国ジパング」

のであり、東北が日本で初めて世界に紹介されたことを物語っているのではないだろうか。

現在では金は掘り尽くされて存在しないが、秋口に東北全域を黄金色に染める稲穂の中からは、黄金色のような米は、それに匹敵するものであると考える。

設立5年目を迎えた東武トップツアーズは、設立当初から「FIREL(ファイール)」という旅用品を前面に打ち出し、心に感じる本物の旅を追求してきた。

東北は前述した以外にも「日本の原風景が各地に数多く存在している。スカウターを持つ大手エージェンツとして、このような東北の宝を発掘し、ブラッシュアップすることによって、外国人のみならず多くの日本人に紹介して東北の観光による復興につなげてほしいと期待するものである。

### 五輪インバウンドを北海道へ

この機会にベストシーズンの北海道観光をぜひとも売り込んでいただきたいと強く願っている。そのためには19年度の事業計画概要では道内支店を対象に「道内誘致キャンペーン」、全国支店向けには「団体誘致促進事業」を実施し、7、8月を除く年間を前期、後期に分けて旅木連加盟施設を利用する「一般団体への助成を行う」。20年度の前期戦と位置付け、目標数値に到達する強い意気込みで共に臨みたい。

北海道全体で外国人入込数は約80万人を数えるが、札幌圏を中心に周遊している。北海道各地はそれぞれの地域色を出し、ハード・ソフトの両面からも特色を生かして魅力を発信していきたい。

北海道支部としては、会社との結び付きを今以上に強く、事業目標の達成、さらには道内各地域、事業自標の協賛にもより協力しながら20年度を見据えた体制づくりを行っていきたい。

## 南関東支部

支部長 梶原宏氏



現況のお客さまの予約チャネルは多岐にわたり、特に個人客におけるOTAの躍進は著しいものがある。国内、海外を問わずOTAからのシェアが増大する中、リアルエージェンツの特性や役割が問われる時代となっている。

こういった時代の流れをいち早く察知し、東武トップツアーズが自らの持つ優位性をどう発揮するのか。今後どう変化していくのか。大変興味もあり、期待もしたいところだ。特に法人営業については、各部門に分けた独自の営業形態を持っており、OTAにはできない優位性を生かした営業活動ができる。さらなる飛躍を期待したい。

## 関東支部

支部長 高塚悌治



周知の通りわれわれの業界も加速度的にエリアに縛られないグローバル化の中にある。ただ、必ずしも強い風をなかに進んでいけるとは言えない観光環境のなか、今年は新元号の制定やインバウンド訪日数の増加、オリンピック関連事業による一過性の集客増やラッシュ因子も確認できる。

しかしながら、やはり関東支部委員の方からは買気は、もう一つだね」といった声があがるのも実態であろう。

そんななか、東武トップツアーズに期待することは、一つにメディア戦略において絶えず他エージェンツの動向

## 北関東支部

支部長 八木澤哲男



昨年は日本各地で多くの自然災害に見舞われ、観光業界も大きな影響を受けた年となった。栃木・群馬地区の委員で構成されている当支部も1月の早津白根山噴火による観光への影響は大きく、特に群馬地区では風評被害も含め、ひとかたならぬ苦勞をされた委員も多かった。当支部でも復興支援の一環として「草津地区への団体送客キャンペーン」を追加実施し、会社からの集中送客に努めていた。

また昨年「栃木ステイション」キャンペーン「開催にあたっては、会社を挙げて団体、個人と集中送客を

### 優位性の発揮に期待

支部の2019年度事業方針だが、委員の皆さまに少しでも多くのご送客をいただけるよう各委員案を実施したい。南関東支部はそれぞれの地域が独自の観光資源や特産品を持っているので、その魅力を最大限にお客さまに知らせるツールの作成なども視野に入れる。そして委員相互の情報交換の場や会社側との懇親の場、現地研修、さらに商談会などコミュニケーションを重視した施策を実施したいと考える。

そういった中で、インバウンドのお客さまがわれわれの視点は違う観光資源を探すように、委員の皆さまからのアイデアを創出し、新たな視座でのプロモーションも考えてみたい。

また、各支部の連携によるキャンペーンや食材の共有など東武トップツアーズのネットワークを生かした企画など模索してどうだろうか。

とにかく現状に甘んじず、あらゆる可能性を協議し、勇気をもって新事業に挑戦していこう。

### メディア戦略で先頭に

走るってほしい点がある。これは、ネット関連事業のみならず紙媒体、電波媒体、人間的イメー操作などについて一層の攻撃的手法を期待することである。

また、俗に「お互い、無理の言える関係」を各委員と東武トップツアーズ社との間で築いていきたいという思いもある。一見逆行にも見えるが、大きくなった他エージェンツはシステマや管理機能、主観的生産性ばかりが視点が集まり、ノリシロのない会社が多い。われらが東武トップツアーズには真の王者であってほしい。

支部事業としては、支部内観光資源の東武社員への周知事業(商談会、社員研修、データによる周知など)や「二一観光(教育旅行、MICE、特殊法人旅行など)の強化(事業、誘客)個人、団体」のための各種販促事業、そして羽田、成田からのインバウンド対策事業などを主軸に2020年以降も期待できる事業体制を目指していこう。

### 誘客・研修・協賛事業を3本柱に

いただいた。来年春に実施される「群馬ステイション」キャンペーンに向け引き続き協力をお願いしたい。今年の支部事業としては引き続き「誘客事業」の研修事業③協賛事業④本柱に実施し、会社との結び付きを今以上に強化していきたい。

事業を通して多くの社員が皆さまに栃木・群馬地区の魅力を知っていただくべく、現地を訪れていただき、委員の皆さまと交流する機会をさらに増やしていく。委員の皆さまにも引き続きの支部事業への協力を願いたい。

旅行業界を取り巻く環境もさらに大きく変化していく。リアルエージェンツとしての魅力的な価値創出も今まで以上に必要となるであろう。いよいよ迎える2020年に向け、東京2020オリンピック・パラリンピックのオフィシャルパートナーである強みを生かし、東武トップツアーズの今後に大いに期待している。



**KANAYA HOTEL**  
KINUGAWA  
ジョン・カナヤが愛した、渓谷の別荘  
栃木県日光市鬼怒川温泉大原 1394  
Tel. 0288-76-0001 予約 Tel.0288-76-0002

**KANAYA RESORT**  
HAKONE  
ジョン・カナヤが愛した、森の別邸  
神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 1251-16  
Tel. 0460-84-0888 予約 Tel.0288-76-2030

**鬼怒川温泉ホテル**  
三代目で楽しむ結核の宿  
栃木県日光市鬼怒川温泉滝 545  
Tel. 0288-77-0025 予約 Tel.0288-77-0300

**THE KEY**  
HIGHLAND NASU  
森のアクティビティリゾート  
栃木県那須郡那須町高久西 3243-342  
Tel. 0287-77-7000 予約 Tel.0288-77-0300



創業1888年 / 日光国立公園鬼怒川温泉  
〒321-2598  
栃木県日光市鬼怒川温泉滝813  
TEL 0288-77-1111  
URL: http://www.asaya-hotel.co.jp